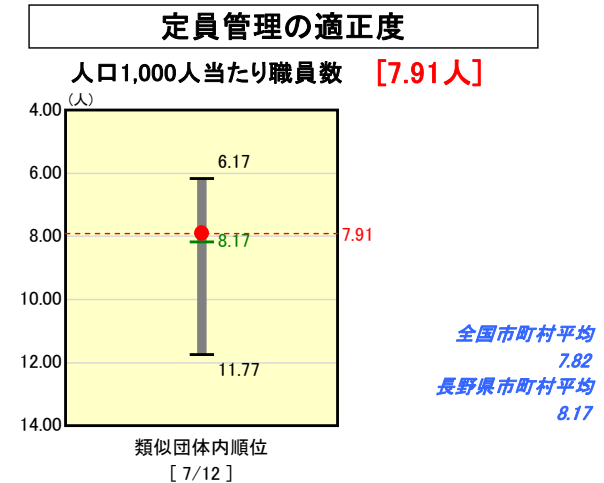
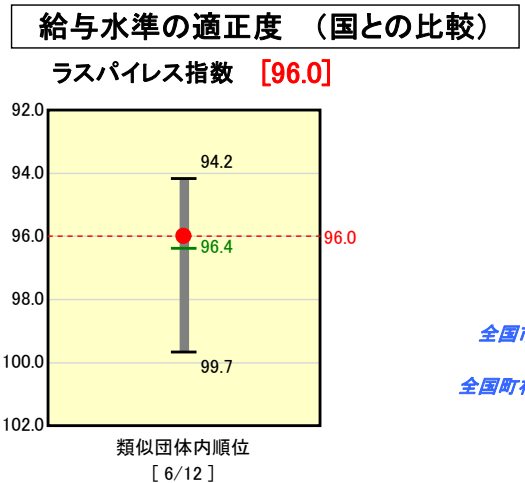
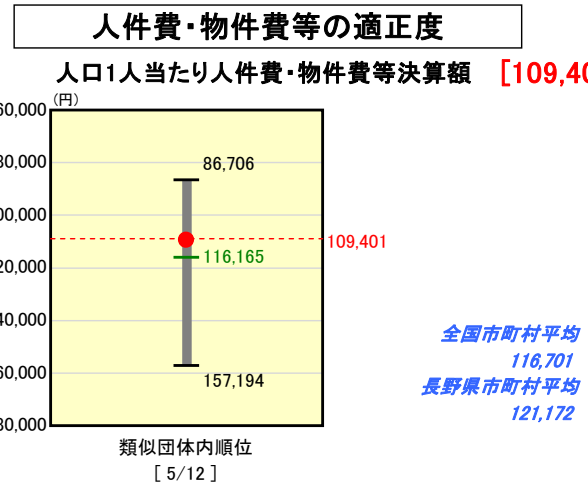
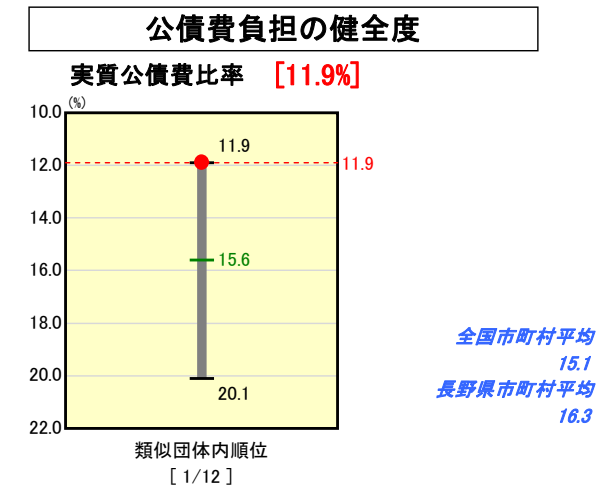
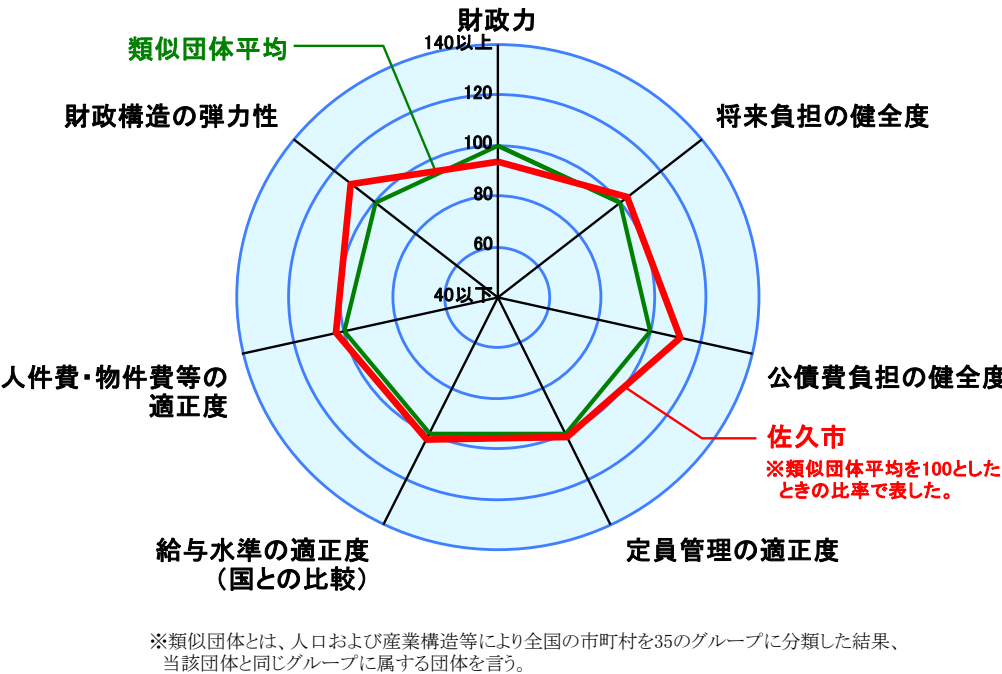
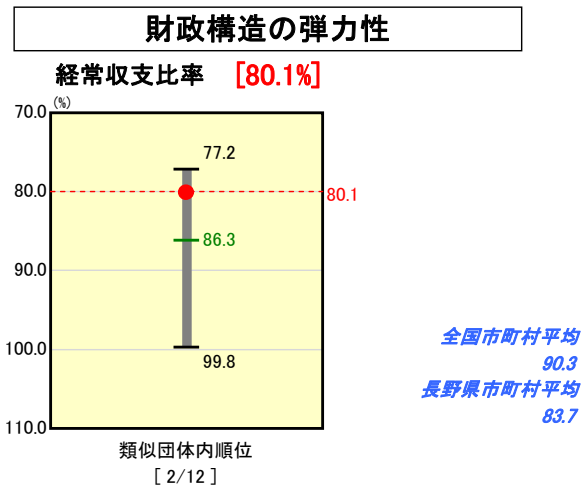
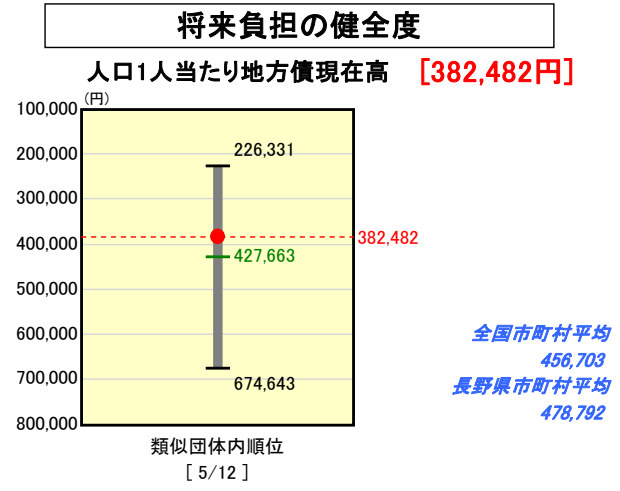
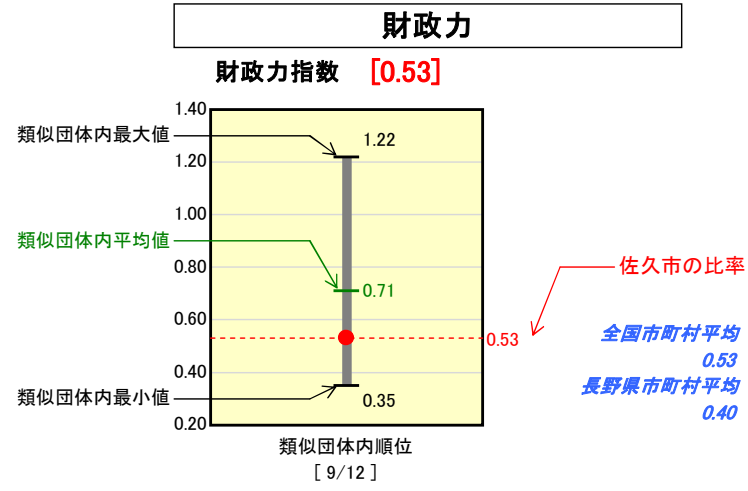


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 佐久市

人口	99,815	人(H19.3.31現在)
面積	423.99	km ²
歳入総額	40,421,612	千円
歳出総額	39,536,200	千円
実質収支	725,394	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数・・・類似団体平均を0.18ポイント下回っているが、長野県市町村平均と比較すると0.13ポイント上回っている。今後、課税客体の把握や企業誘致等の増収策を積極的に展開し、財政力強化に努める。

○経常収支比率・・・類似団体平均を6.2ポイント下回りトップクラスの数値となっている。これは、佐久市が健全財政を目指し、積極的に市債の繰上償還に取り組んできた成果であるといえる。今後も計画的に繰上償還を実施するとともに、人件費の削減等に取り組む、多様化する市民要望に速やかに対応するため、弾力的な財政運営に努め、経常収支比率の向上を図る。

○ラスパイレス指数・・・類似団体内平均値と比較すると0.4ポイント低くなっている。また、県内の市の中においても下位に位置している。給料額の平均4.8%の減額等国に準じた給与構造改革に伴う給与改定を平成18年4月1日に実施した。

○実質公債費比率・・・合併前から市債の繰上償還を計画的に実施してきたことにより、類似団体内平均値と比較すると3.7ポイント低くなっている。H18についても1,079百万円の繰上償還を行い公債費の削減を図ったが、今後も繰上償還を計画的に実施するとともに起債の借り入れに当たっては、交付税算入率の高い、いわゆる有利な起債を選択し、今後とも、市民要望を的確に把握した事業の厳選を図り健全財政の堅持に努める。

○人口1人当たり地方債現在高・・・類似団体内平均値と比較すると45,181円下回っている。合併に伴う各種事業が計画されているが、合併特例債等の市債借り入れに当たっては、プライマリーバランス等に配慮するなど将来的な財政運営を視野に効果的に活用するとともに、計画的に繰上償還を実施することにより、指標の適正化に努める。

○人口1,000人当たり職員数・・・平成17年4月1日近隣4市町村により市町村合併を行ったが、新規採用職員の抑制等の集中改革プランに基づく職員数の削減、組織機構の見直し、指定管理者制度の導入、民間委託化等により、行政サービスを維持しつつ効率化を図り、昨年比0.05人下回り、類似団体平均を0.26人下回っている。職員数については、集中改革プランに基づき、平成17年4月1日から5年間で4.7%以上の純減確保に向け更なる効率化を図る。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額・・・類似団体平均値と比較しても6,764円下回っている。合併に伴い文化施設等においては、類似施設が複数あることから、指定管理者制度の積極的な導入とスクラップアンドビルドの徹底に努め、コストの削減を図る。